



第4回

農業研修会

令和7年度

限界をチャンスに変える！ コスト削減から見た希望

長野県南牧村「ツワインヒルフィールドギルド」の
耕畜連携による自給飼料生産の取り組みについて

- ①粗飼料自給率100%で低コスト酪農を目指す
- ②ツワインヒルフィールドギルド設立の経緯・事業内容
- ③ツワインヒルフィールドギルド設立の効果
- ④今後の展開

日付：令和7年12月4日(木)

時間：午後1時30分～午後3時00分

場所：豊橋市役所 東128会議室

オンライン同時開催

対象：どなたでも

二ツ山牧場 代表 吉澤 克次 氏
就農年 1993年4月

飼養頭数 132頭

自給飼料を中心とした経営を行い、地元野菜農家と作業の協力(牧草・デントコーンの収穫・堆肥散布・堆肥配達)を行う。周りを助け・助け合いながら共に成長をする「結」の精神で経営。酪農農家代表として農林水産省のヒアリングに参加。



お問い合わせ・お申込み

豊橋市役所 産業部 農業支援課

[メール] nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp

[お電話] 0532-51-2461

[お申込み] 12月1日(月)までにお電話または二次元コードよりお申込みください。

①氏名 ②電話番号 ③営農類型(農業者のみ) ④参加方法(会場又はオンライン)

